

## 定住自立圏構想における基本問題検討ワーキンググループ（第9回）

### 要旨

#### 【開催日時等】

- 開催日時：平成29年3月9日（木）10：00～12：00
- 場 所：総務省 共用会議室2
- 出席者：辻座長、伊藤委員、小西委員、高田委員、牧野委員、山越地域自立応援課長、中井地域自立応援課長補佐、小川市町村課長

#### 【主な意見】

- それぞれの未取組市のスタンスに濃淡がある。K P Iである140圏域の形成に向け、丁寧にフォローアップを行うべき。
- トップランナーの圏域を取り上げていく必要がある。良い事例を共有していくことが重要。
- 定住自立圏では、取組を進める中で様々な事業が地域の中で提案され、実施されている。ポジティブスパイラルが生まれていくためには、市町村長同士の議論の場があることが重要であり、定住自立圏という枠組みがあることが大きい。
- 人口減少・高齢化が進む中で、今のうちにまちづくりの考え方を広域で議論するべき。その中で定住自立圏も一つのツールとして検討されると良いのではないか。
- 定住自立圏は基本のOSを整備するものである。そこにどのようなソフトを載せていくかは、各圏域の取り組み次第。